

働 <

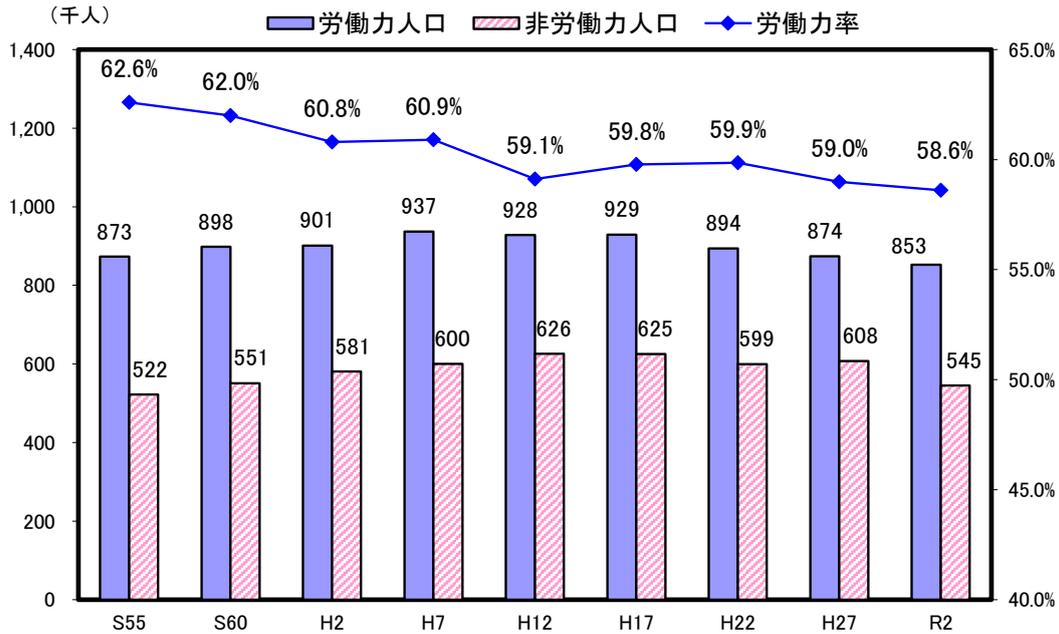
Work

38 労働力 Labor Force

都道府県 Prefecture	労働力率 Labor force participation rate						完全失業率 Unemployment rate	
	Labor force participation rate		男 Male		女 Female		Unemployment rate	
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	59.1	39	69.5	34	50.2	44	3.2	46
青森県 Aomori	60.1	35	69.8	31	51.6	37	2.9	43
岩手県 Iwate	61.0	28	70.7	24	52.3	33	2.5	34
宮城県 Miyagi	61.5	23	71.6	13	52.3	32	2.8	41
秋田県 Akita	58.4	45	68.6	38	49.5	45	2.3	27
山形県 Yamagata	61.8	20	70.6	26	53.9	15	1.9	10
福島県 Fukushima	61.3	25	71.2	21	52.0	36	2.2	19
茨城県 Ibaraki	61.6	21	71.0	22	52.4	29	2.5	34
栃木県 Tochigi	62.6	13	72.0	9	53.5	21	2.3	27
群馬県 Gumma	62.4	16	71.3	18	53.9	14	1.9	10
埼玉県 Saitama	62.9	11	72.6	5	53.7	16	2.7	40
千葉県 Chiba	62.3	17	71.8	11	53.2	22	2.5	34
東京都 Tokyo	66.7	1	76.0	1	58.2	1	2.6	37
神奈川県 Kanagawa	63.1	7	73.0	3	53.7	18	2.8	41
新潟県 Niigata	60.8	30	69.7	33	52.7	26	2.2	19
富山県 Toyama	62.7	12	71.4	15	54.7	8	1.8	5
石川県 Ishikawa	63.0	8	71.2	20	55.6	4	2.1	18
福井県 Fukui	64.5	3	72.8	4	56.8	2	1.7	4
山梨県 Yamanashi	63.0	9	72.0	10	54.6	9	1.8	5
長野県 Nagano	63.5	5	72.4	7	55.3	6	2.0	15
岐阜県 Gifu	62.6	14	71.6	12	54.3	13	1.6	2
静岡県 Shizuoka	63.0	10	72.0	8	54.4	12	2.2	19
愛知県 Aichi	64.7	2	74.3	2	55.5	5	2.0	15
三重県 Mie	62.2	18	71.5	14	53.6	19	1.8	5
滋賀県 Shiga	63.2	6	72.5	6	54.5	11	2.3	27
京都府 Kyoto	60.5	32	69.8	32	52.3	30	2.4	33
大阪府 Osaka	61.1	26	70.9	23	52.6	27	3.1	45
兵庫県 Hyogo	59.8	36	70.0	29	51.0	38	2.6	37
奈良県 Nara	56.6	47	66.8	47	47.9	47	2.2	19
和歌山県 Wakayama	59.2	38	69.4	36	50.5	43	2.3	27
鳥取県 Tottori	61.9	19	70.3	27	54.5	10	2.0	15
島根県 Shimane	61.3	24	69.8	30	53.6	20	1.3	1
岡山県 Okayama	60.7	31	70.0	28	52.4	28	2.2	19
広島県 Hiroshima	61.5	22	71.2	19	52.8	25	2.2	19
山口県 Yamaguchi	57.9	46	67.9	44	49.2	46	1.8	5
徳島県 Tokushima	58.5	44	67.1	45	50.9	40	2.2	19
香川県 Kagawa	60.4	33	69.3	37	52.3	31	2.2	19
愛媛県 Ehime	59.0	42	68.6	39	50.7	42	1.9	10
高知県 Kochi	59.0	40	66.9	46	52.3	34	1.9	10
福岡県 Fukuoka	61.1	27	70.6	25	53.0	24	2.9	43
佐賀県 Saga	62.5	15	71.3	17	54.9	7	1.6	2
長崎県 Nagasaki	59.0	41	68.4	43	51.0	39	1.9	10
熊本県 Kumamoto	61.0	29	69.4	35	53.7	17	2.6	37
大分県 Oita	59.0	43	68.5	40	50.7	41	1.8	5
宮崎県 Miyazaki	60.1	34	68.4	41	53.1	23	2.3	27
鹿児島県 Kagoshima	59.7	37	68.4	42	52.2	35	2.3	27
沖縄県 Okinawa	63.6	4	71.4	16	56.3	3	3.2	46
全 国 Japan	62.1		71.6		53.5		2.6	

資料出所	国勢調査	国勢調査	国勢調査	労働力調査 < 参考資料 >
	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R4年
調査周期	5年	5年	5年	毎年

熊本県の労働力人口の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）1,398千人のうち、労働力人口は853千人で、労働力率は61%となった。男女別では、男性69.4%（全国平均71.6%）女性53.7%（全国平均53.5%）であり、全国に比べて男性は下回り、女性は上回った。

また、年次推移を見てみると、男女別では、男性の減少が大きく、昭和55年の77.6%から69.4%にまで減少しており、女性は、逆に49.6%から53.7%と増加している。

令和4年の完全失業率は2.6%で、全国平均と同率であり共に前年から0.2ポイント減少した。

○労働力人口

15歳以上の人口のうち就業者と完全失業者を合わせた数。

○就業者

調査週間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を少しでもした者。休業者も含み、家族が自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○完全失業者

調査週間中、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探していた人。

○労働力率

労働力人口÷15歳以上人口（労働力状態不詳を除く）×100

○完全失業率

完全失業者数÷労働力人口×100

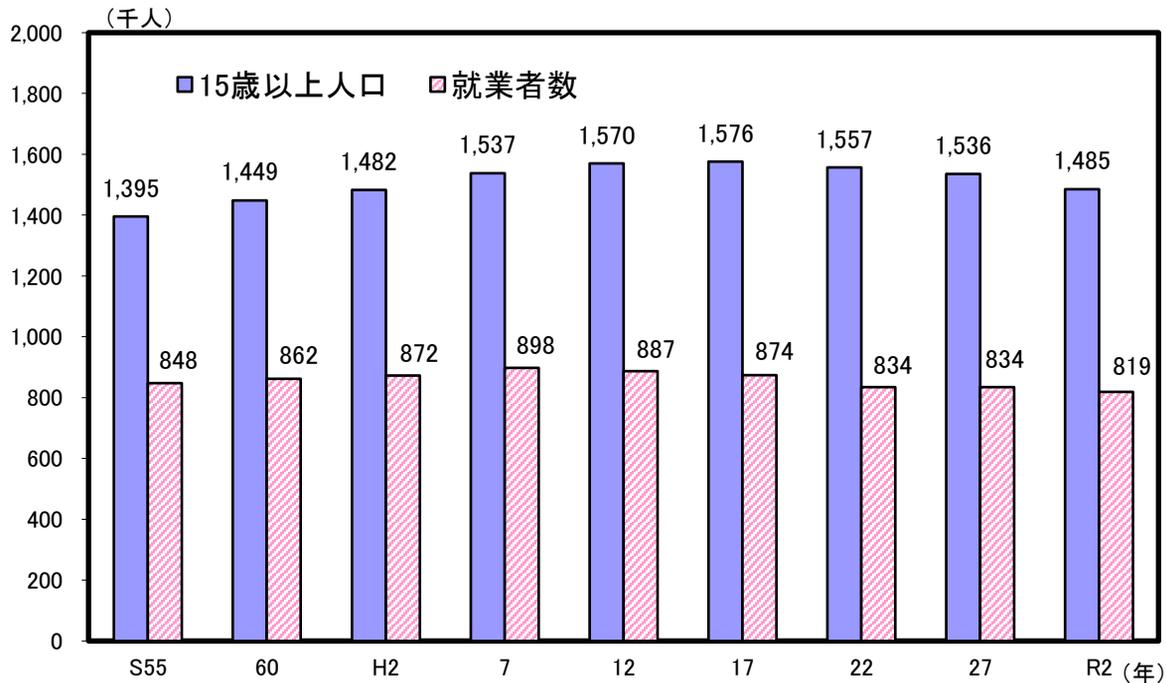
資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局 「労働力調査<参考資料>」 総務省統計局	令和2年10月1日 令和4年	5年 毎年

39 就業者 Employees

都道府県 Prefecture	就業者比率 Ratio of employed workers		離職率 Ratio of separated employees		平均勤続年数 Average length of service			
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	男 Male		女 Female	
					(年) (years)	順位 Rank	(年) (years)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	50.9	42	4.2	7	13.5	34	9.5	39
青森県 Aomori	55.3	19	4.5	1	13.3	37	11.2	7
岩手県 Iwate	56.9	11	3.6	29	14.6	6	12.0	1
宮城県 Miyagi	54.5	27	4.5	1	13.7	28	10.1	29
秋田県 Akita	54.1	30	3.6	29	15.3	2	11.5	4
山形県 Yamagata	57.6	5	3.4	40	14.4	12	11.5	4
福島県 Fukushima	54.7	24	3.8	17	13.1	41	10.1	29
茨城県 Ibaraki	55.0	23	3.3	44	14.7	3	10.6	16
栃木県 Tochigi	55.5	18	3.6	29	14.7	3	11.1	10
群馬県 Gumma	56.8	12	3.7	26	14.6	6	10.3	22
埼玉県 Saitama	54.0	31	4.1	10	13.5	34	9.3	40
千葉県 Chiba	52.8	36	3.7	26	13.2	39	9.7	33
東京都 Tokyo	49.5	44	3.5	36	12.9	45	9.1	45
神奈川県 Kanagawa	52.3	38	3.8	17	13.8	23	9.1	45
新潟県 Niigata	56.3	15	3.5	36	14.7	3	11.6	3
富山県 Toyama	58.7	2	3.5	36	14.6	6	12.0	1
石川県 Ishikawa	57.4	7	3.8	17	14.6	6	11.2	7
福井県 Fukui	59.9	1	3.0	47	13.8	23	11.0	11
山梨県 Yamanashi	57.0	10	3.4	40	13.7	28	10.4	19
長野県 Nagano	58.6	3	3.6	29	14.3	15	10.9	13
岐阜県 Gifu	57.3	9	3.4	40	14.1	18	10.6	16
静岡県 Shizuoka	57.6	6	3.6	29	14.4	12	10.0	31
愛知県 Aichi	56.6	13	3.6	29	14.6	6	9.6	35
三重県 Mie	55.7	17	4.0	12	13.9	22	9.3	40
滋賀県 Shiga	56.0	16	3.2	46	14.6	6	10.3	22
京都府 Kyoto	49.3	45	3.6	29	13.3	37	9.3	40
大阪府 Osaka	48.1	47	4.2	7	13.8	23	9.6	35
兵庫県 Hyogo	51.4	40	4.4	3	14.0	21	10.3	22
奈良県 Nara	49.8	43	4.2	7	15.4	1	9.8	32
和歌山県 Wakayama	53.0	35	3.8	17	13.8	23	11.0	11
鳥取県 Tottori	56.5	14	3.4	40	13.2	39	10.4	19
島根県 Shimane	57.3	8	3.3	44	13.4	36	10.8	15
岡山県 Okayama	54.6	26	3.8	17	14.1	18	10.5	18
広島県 Hiroshima	55.1	22	3.8	17	14.2	17	10.2	26
山口県 Yamaguchi	53.1	34	3.9	15	14.4	12	10.2	26
徳島県 Tokushima	53.5	33	3.5	36	14.3	15	11.2	7
香川県 Kagawa	54.4	28	3.8	17	14.1	18	10.4	19
愛媛県 Ehime	52.5	37	3.7	26	13.7	28	9.3	40
高知県 Kochi	51.1	41	3.9	15	13.8	23	11.5	4
福岡県 Fukuoka	52.3	39	4.0	12	13.1	41	9.6	35
佐賀県 Saga	58.0	4	3.8	17	13.1	41	10.2	26
長崎県 Nagasaki	54.4	29	4.1	10	13.6	32	10.9	13
熊本県 Kumamoto	55.2	21	4.0	12	13.6	32	9.6	35
大分県 Oita	53.9	32	3.8	17	13.7	28	9.7	33
宮崎県 Miyazaki	54.6	25	4.3	5	12.8	46	10.3	22
鹿児島県 Kagoshima	55.2	20	4.3	5	13.1	41	9.2	44
沖縄県 Okinawa	48.3	46	4.4	3	11.1	47	8.4	47
全国 Japan	53.2		3.8		13.7		9.8	

資料出所	国勢調査 総務省統計局	就業構造基本調査 総務省統計局	賃金構造基本統計調査 厚生労働省	賃金構造基本統計調査 厚生労働省
調査期日	R2.10.1	R4.10.1	R4年6月	R4年6月
調査周期	5年	5年	毎年	毎年

熊本県の就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内就業者数は819千人で、15歳以上人口に占める割合（就業者比率）は55.2%となっており、全国平均の53.2%を1.9ポイント上回っている。

また、昭和55年以降、平成7年までは15歳以上人口の増加とともに就業者数も増加していたが、平成12年、平成17年については、15歳以上人口は増加しているにもかかわらず、就業者数は減少している。なお、令和2年は、平成27年と比較すると15歳以上人口の減少に伴い就業者数も減少している。

就業者比率については、昭和55年以降、減少傾向にあったが、平成27年以降増加傾向にある。

○就業者

調査週間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事を1時間以上した者。休業者も含み、家族が自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○離職者

1年前には仕事をしていたが、その仕事をやめて現在は仕事をしていない者。

○継続就業者

1年前の勤め先と現在の勤め先が同じ者。

○転職者

1年前の勤め先と現在の勤め先が異なっている者。

○就業者比率

就業者数 ÷ 15歳以上人口（労働力状態不詳を含む） × 100

○離職率

離職者数 ÷ （継続就業者 + 転職者 + 離職者） × 100

○勤続年数

労働者がその企業に雇われてから、調査対象日までに勤続した年数。

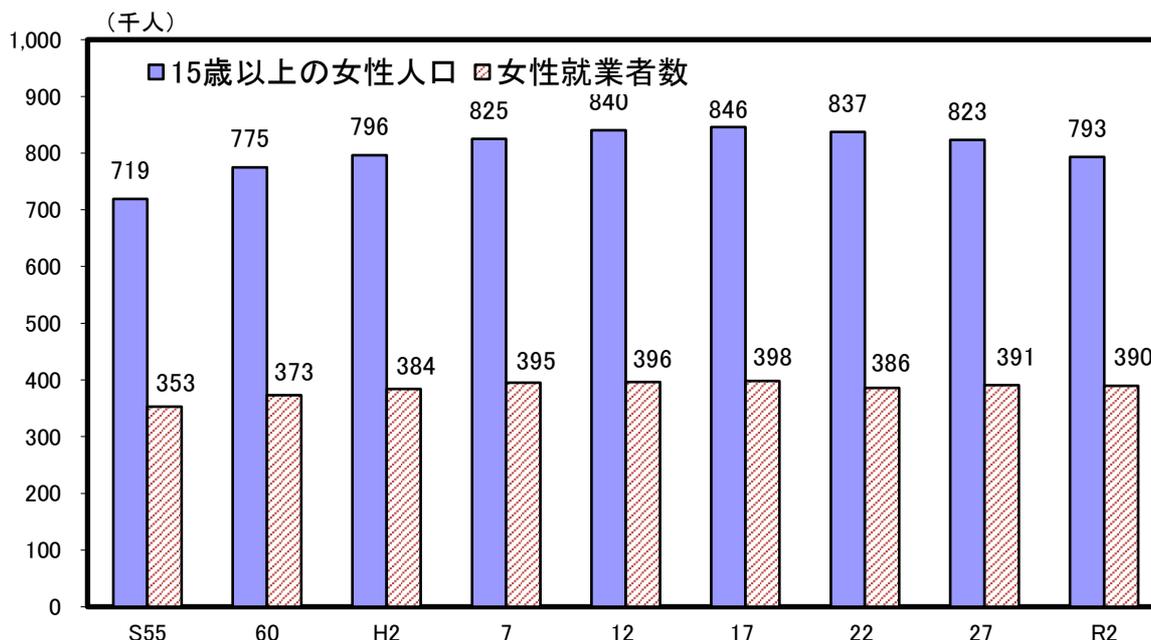
資料 出 所	調 査 期 日	調 査 周 期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年
「就業構造基本調査」 総務省統計局	令和4年10月1日	5年
「賃金構造基本統計調査」 厚生労働省	令和4年6月	毎年

40 女性の就業 Female Employees

都道府県 Prefecture	就業者比率 Employment rate				女性管理職比率 Ratio of female executives		共働率 Ratio of dual-income	
	男 Male		女 Female		%	順位 Rank	%	順位 Rank
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank				
北海道 Hokkaido	59.1	41	43.8	43	14.4	36	43.5	44
青森県 Aomori	63.6	15	48.1	22	18.0	3	52.3	14
岩手県 Iwate	65.3	5	49.3	14	15.6	25	54.2	10
宮城県 Miyagi	62.5	25	46.9	31	15.8	21	48.4	31
秋田県 Akita	62.8	22	46.4	33	13.5	42	52.5	12
山形県 Yamagata	65.2	6	50.7	6	14.5	35	58.2	2
福島県 Fukushima	62.8	21	47.1	29	15.7	23	50.9	19
茨城県 Ibaraki	62.6	24	47.5	27	14.9	31	48.4	31
栃木県 Tochigi	63.0	20	48.1	21	14.9	32	49.9	21
群馬県 Gumma	64.1	13	49.7	12	14.9	30	51.6	17
埼玉県 Saitama	61.3	33	46.9	32	13.5	43	45.4	38
千葉県 Chiba	59.9	37	46.0	35	13.7	41	44.3	40
東京都 Tokyo	55.0	45	44.2	42	17.9	4	43.5	44
神奈川県 Kanagawa	59.5	38	45.3	40	14.6	34	43.6	42
新潟県 Niigata	63.8	14	49.3	13	13.1	46	54.7	9
富山県 Toyama	66.3	2	51.7	2	13.3	44	56.6	4
石川県 Ishikawa	64.3	11	51.1	5	14.3	38	55.3	7
福井県 Fukui	67.1	1	53.2	1	13.7	40	59.1	1
山梨県 Yamanashi	64.4	10	50.0	11	15.2	28	53.3	11
長野県 Nagano	66.2	3	51.5	4	12.7	47	55.2	8
岐阜県 Gifu	64.8	8	50.2	10	13.2	45	52.4	13
静岡県 Shizuoka	65.0	7	50.5	8	14.1	39	51.9	15
愛知県 Aichi	64.2	12	49.2	15	15.1	29	49.1	29
三重県 Mie	63.3	18	48.6	20	15.4	27	49.7	22
滋賀県 Shiga	63.5	16	48.8	18	14.4	37	49.7	22
京都府 Kyoto	56.1	44	43.3	45	17.7	5	43.6	42
大阪府 Osaka	54.6	46	42.2	47	17.0	8	40.9	47
兵庫県 Hyogo	59.4	40	44.4	41	16.4	13	43.8	41
奈良県 Nara	58.0	42	42.6	46	16.1	18	41.2	46
和歌山県 Wakayama	61.3	34	45.8	37	16.7	10	47.2	34
鳥取県 Tottori	63.3	17	50.4	9	17.0	9	55.4	5
島根県 Shimane	64.7	9	50.6	7	14.6	33	56.8	3
岡山県 Okayama	62.2	27	47.7	25	16.7	11	49.2	28
広島県 Hiroshima	63.1	19	47.8	23	15.8	20	48.3	33
山口県 Yamaguchi	61.5	31	45.7	38	15.6	24	46.5	36
徳島県 Tokushima	60.7	35	47.1	28	19.6	1	49.7	22
香川県 Kagawa	61.8	30	47.7	24	16.4	12	49.3	27
愛媛県 Ehime	60.3	36	45.6	39	16.2	15	47.2	34
高知県 Kochi	57.1	43	45.9	36	18.0	2	49.4	26
福岡県 Fukuoka	59.4	39	46.1	34	17.7	6	46.1	37
佐賀県 Saga	65.5	4	51.5	3	16.2	16	55.4	5
長崎県 Nagasaki	62.3	26	47.5	26	16.2	14	49.6	25
熊本県 Kumamoto	62.1	28	49.2	16	17.6	7	51.9	15
大分県 Oita	61.8	29	46.9	30	16.1	17	48.9	30
宮崎県 Miyazaki	61.3	32	48.8	17	15.5	26	51.5	18
鹿児島県 Kagoshima	62.6	23	48.8	19	15.7	22	50.6	20
沖縄県 Okinawa	53.3	47	43.5	44	16.0	19	44.5	39
全 国 Japan	60.5		46.5		15.7		45.0	

資料出所	国勢調査	国勢調査	国勢調査	国勢調査
	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1
調査周期	5年	5年	5年	5年

熊本県の女性就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内女性就業者数は390千人で、15歳以上女性人口に占める割合（女性就業者比率）は49.2%となり、全国平均の46.5%を上回っている。

また、女性就業者数の推移をみると、昭和55年以降、15歳以上女性人口の増加に伴い就業者数も増加していたが、平成17年以降は15歳以上女性人口、女性就業者数ともに減少傾向である。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○就業者比率

就業者数 ÷ 15歳以上人口（労働力状態不詳を含む） × 100

○管理職（管理的職業従事者）

事業経営方針の決定・経営方針に基づく執行計画の樹立・作業の監督・統制など、経営体の全般又は課（課相当を含む）以上の内部組織の経営・管理の仕事に従事するもの。

○女性管理職比率

女性管理的職業従事者 ÷ 管理的職業従事者（男女計） × 100

○共働率

夫・妻とも就業している世帯数 ÷ 夫婦のいる一般世帯数 × 100

○一般世帯

- (1) 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住込み雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めた。
- (2) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿している単身者。
- (3) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者。

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

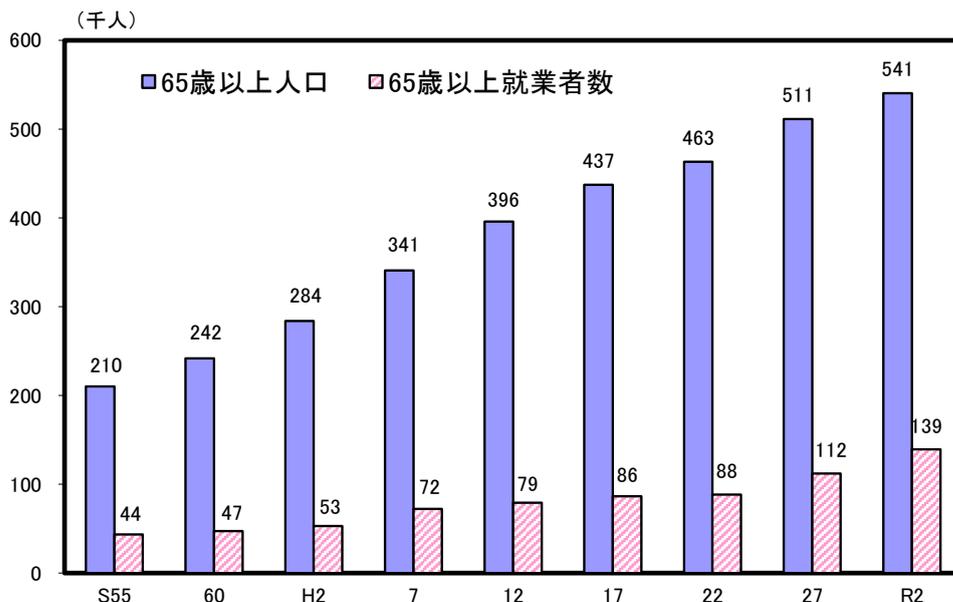
41 高齢者・障がい者の就業 Elderly Employees, Employees with the Disabilities

都道府県 Prefecture	高齢者の就業者比率						障がい者雇用率 (民間企業)	
	Ratio of elderly employees		男 Male		女 Female		*1	
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	22.6	43	31.8	41	16.0	44	2.58	11
青森県 Aomori	25.6	19	34.9	14	19.1	20	2.55	15
岩手県 Iwate	27.5	7	37.9	6	19.9	14	2.42	24
宮城県 Miyagi	24.3	34	34.6	16	16.3	41	2.29	40
秋田県 Akita	25.0	27	35.5	12	17.5	38	2.40	27
山形県 Yamagata	27.8	6	38.1	5	20.0	12	2.31	39
福島県 Fukushima	26.3	15	35.8	9	18.9	22	2.29	40
茨城県 Ibaraki	25.4	21	33.3	28	18.9	22	2.32	37
栃木県 Tochigi	26.7	10	34.7	15	20.1	11	2.39	29
群馬県 Gumma	26.4	14	34.6	16	19.8	15	2.28	43
埼玉県 Saitama	24.5	32	32.9	32	17.6	36	2.42	24
千葉県 Chiba	23.8	40	31.8	41	17.3	39	2.38	30
東京都 Tokyo	25.6	19	34.6	16	18.8	25	2.21	46
神奈川県 Kanagawa	22.7	42	30.9	43	16.3	41	2.29	40
新潟県 Niigata	24.9	28	34.5	19	17.7	35	2.38	30
富山県 Toyama	26.5	13	35.1	13	20.0	12	2.32	37
石川県 Ishikawa	26.6	11	35.8	9	19.8	15	2.49	20
福井県 Fukui	29.0	3	38.7	3	21.6	3	2.58	11
山梨県 Yamanashi	29.8	2	39.1	2	22.5	2	2.25	45
長野県 Nagano	30.6	1	40.0	1	23.2	1	2.42	24
岐阜県 Gifu	27.2	8	35.8	9	20.4	8	2.47	22
静岡県 Shizuoka	26.6	11	34.3	22	20.5	6	2.37	33
愛知県 Aichi	25.4	21	32.9	32	19.3	18	2.28	43
三重県 Mie	25.1	25	32.9	32	19.0	21	2.56	14
滋賀県 Shiga	25.1	25	33.9	25	17.9	32	2.52	16
京都府 Kyoto	24.3	34	33.4	26	17.6	36	2.37	33
大阪府 Osaka	21.7	45	29.6	46	15.6	46	2.35	36
兵庫県 Hyogo	22.3	44	30.9	43	15.8	45	2.36	35
奈良県 Nara	21.6	47	30.6	45	14.6	47	3.06	2
和歌山県 Wakayama	25.3	23	34.1	23	18.9	22	2.71	8
鳥取県 Tottori	27.2	8	36.1	8	20.7	5	2.47	22
島根県 Shimane	28.1	4	38.3	4	20.5	6	2.83	4
岡山県 Okayama	24.5	32	33.0	31	18.0	31	2.58	11
広島県 Hiroshima	24.7	30	33.3	28	18.2	28	2.48	21
山口県 Yamaguchi	24.0	39	32.4	37	17.9	32	2.77	6
徳島県 Tokushima	24.3	34	31.9	40	18.6	27	2.40	27
香川県 Kagawa	24.8	29	32.7	35	18.8	25	2.19	47
愛媛県 Ehime	24.3	34	32.5	36	18.2	28	2.51	18
高知県 Kochi	25.3	23	32.4	37	20.2	10	2.51	18
福岡県 Fukuoka	23.6	41	32.3	39	17.3	39	2.38	30
佐賀県 Saga	28.1	4	37.6	7	21.1	4	2.80	5
長崎県 Nagasaki	24.3	34	33.1	30	17.9	32	2.85	3
熊本県 Kumamoto	25.8	17	34.4	21	19.4	17	2.52	16
大分県 Oita	24.6	31	33.4	26	18.2	28	2.72	7
宮崎県 Miyazaki	26.2	16	34.0	24	20.4	8	2.66	9
鹿児島県 Kagoshima	25.8	17	34.5	19	19.2	19	2.62	10
沖縄県 Okinawa	21.7	45	28.5	47	16.1	43	3.24	1
全 国 Japan	24.7		33.3		18.1		2.33	

*1 Ratio of employees with the disabilities (private establishments)

資料出所	国勢調査	国勢調査	国勢調査	厚生労働省資料
	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局	厚生労働省
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R5.6.1
調査周期	5年	5年	5年	毎年

熊本県の高齢者の就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内65歳以上人口541千人のうち就業者数は139千人であった。

同人口・就業者数の推移をみると、65歳以上人口が昭和55年の210千人から約2.57倍に増加し、就業者数についても昭和55年の44千人から約3.2倍となっている。

また、高齢者の就業者比率は昭和55年以降ほぼ20%前後であり、令和2年の25.8%は全国平均24.7%を上回った。

本県の令和5年6月1日現在の障がい者雇用率（民間企業）は2.52%であり、全国平均（2.33%）及び法定雇用率（2.3%）を上回った。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入も含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○年齢

調査年の9月30日現在における満年齢。

○高齢者の就業者比率

$$\frac{\text{65歳以上の就業者数}}{\text{65歳以上人口}} \times 100$$

○男性高齢者の就業者比率

$$\frac{\text{男性65歳以上の就業者数}}{\text{男性65歳以上人口}} \times 100$$

○女性高齢者の就業者比率

$$\frac{\text{女性65歳以上の就業者数}}{\text{女性65歳以上人口}} \times 100$$

○障がい者雇用率（民間企業）

「障害者の雇用の促進等に関する法律」により、1人以上の身体障がい者又は知的障がい者を雇用する義務があり、一般の民間企業においては2.3%の法定雇用率が適用される。

身体、知的及び精神障がい者である常用労働者数（失業者を含む）÷常用労働者数（失業者を含む）×100
（重度障がい者は1人について、2人の雇用とみなす）

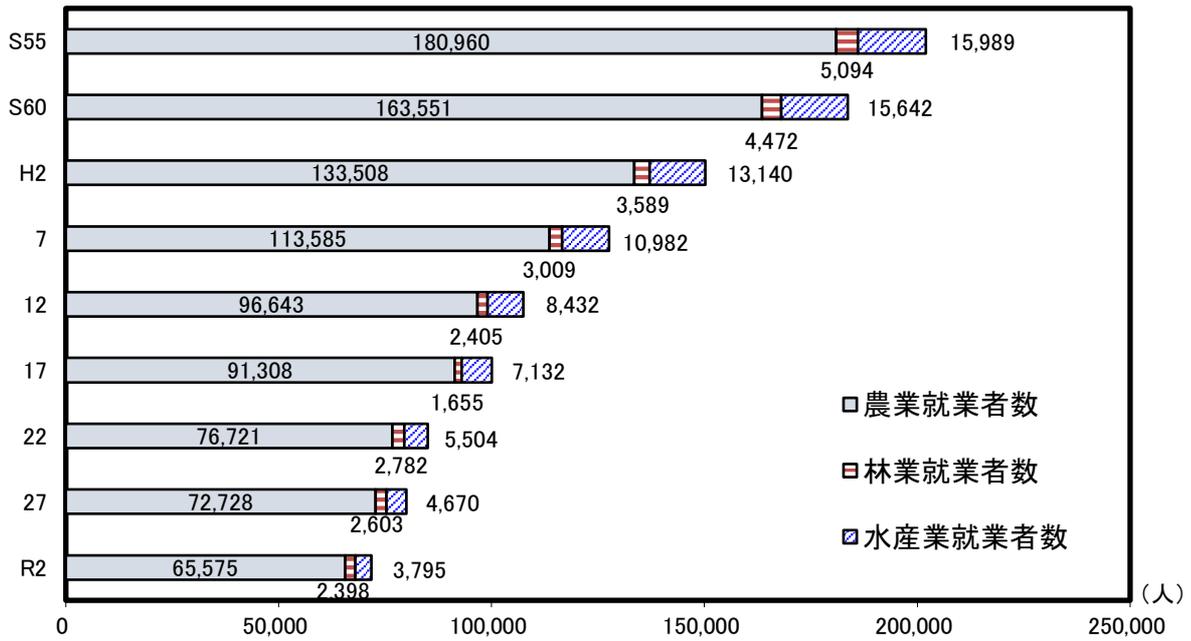
資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局 厚生労働省資料	令和2年10月1日 令和5年6月1日	5年 毎年

42 第一次産業の就業者 Employees in Primary Industry

都道府県 Prefecture	就業者比率 Ratio of employees							
	第一次産業 Primary industry		農業 Agriculture		林業 Forestry		漁業 Fisheries	
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	6.85	15	5.37	19	0.28	9	1.20	2
青森県 Aomori	11.36	1	9.95	1	0.28	10	1.14	3
岩手県 Iwate	9.74	4	8.49	4	0.49	3	0.76	7
宮城県 Miyagi	4.18	28	3.51	29	0.14	24	0.54	13
秋田県 Akita	8.79	6	8.18	7	0.49	4	0.12	31
山形県 Yamagata	8.79	7	8.49	5	0.21	18	0.09	34
福島県 Fukushima	6.35	19	5.96	15	0.26	12	0.13	29
茨城県 Ibaraki	5.24	23	5.08	22	0.05	38	0.11	33
栃木県 Tochigi	5.35	21	5.21	20	0.12	26	0.02	43
群馬県 Gumma	4.60	25	4.45	24	0.13	25	0.01	46
埼玉県 Saitama	1.54	44	1.52	44	0.01	44	0.00	47
千葉県 Chiba	2.51	37	2.38	36	0.02	42	0.12	32
東京都 Tokyo	0.38	47	0.36	47	0.01	46	0.01	45
神奈川県 Kanagawa	0.79	45	0.75	45	0.01	45	0.03	38
新潟県 Niigata	5.25	22	5.01	23	0.10	32	0.14	28
富山県 Toyama	2.98	33	2.73	32	0.10	31	0.16	26
石川県 Ishikawa	2.70	36	2.24	40	0.12	27	0.34	21
福井県 Fukui	3.26	31	2.87	31	0.15	21	0.24	23
山梨県 Yamanashi	6.74	17	6.50	14	0.21	17	0.03	39
長野県 Nagano	8.55	8	8.27	6	0.26	13	0.02	42
岐阜県 Gifu	2.88	34	2.68	33	0.18	19	0.02	40
静岡県 Shizuoka	3.53	30	3.23	30	0.09	34	0.20	24
愛知県 Aichi	1.97	42	1.86	42	0.02	43	0.09	35
三重県 Mie	3.24	32	2.57	34	0.11	28	0.56	11
滋賀県 Shiga	2.48	39	2.34	37	0.07	35	0.06	37
京都府 Kyoto	2.03	41	1.90	41	0.07	36	0.07	36
大阪府 Osaka	0.51	46	0.48	46	0.01	47	0.02	41
兵庫県 Hyogo	1.90	43	1.67	43	0.05	39	0.18	25
奈良県 Nara	2.45	40	2.29	39	0.15	22	0.01	44
和歌山県 Wakayama	8.39	10	7.70	9	0.24	14	0.45	17
鳥取県 Tottori	7.92	11	7.23	11	0.32	7	0.38	19
島根県 Shimane	6.62	18	5.46	17	0.43	5	0.73	8
岡山県 Okayama	4.25	26	3.97	26	0.15	23	0.13	30
広島県 Hiroshima	2.78	35	2.42	35	0.09	33	0.27	22
山口県 Yamaguchi	4.15	29	3.51	28	0.16	20	0.48	15
徳島県 Tokushima	7.66	12	6.82	12	0.24	15	0.59	10
香川県 Kagawa	4.84	24	4.44	25	0.05	37	0.34	20
愛媛県 Ehime	6.97	14	5.89	16	0.23	16	0.85	5
高知県 Kochi	10.54	2	8.69	3	0.80	1	1.04	4
福岡県 Fukuoka	2.51	38	2.32	38	0.04	40	0.15	27
佐賀県 Saga	7.57	13	6.69	13	0.10	30	0.77	6
長崎県 Nagasaki	6.76	16	5.09	21	0.11	29	1.57	1
熊本県 Kumamoto	8.94	5	8.17	8	0.30	8	0.47	16
大分県 Oita	6.25	20	5.38	18	0.33	6	0.54	12
宮崎県 Miyazaki	10.06	3	8.79	2	0.74	2	0.53	14
鹿児島県 Kagoshima	8.47	9	7.58	10	0.27	11	0.63	9
沖縄県 Okinawa	4.20	27	3.75	27	0.03	41	0.42	18
全 国 Japan	3.51		3.17		0.11		0.24	

資料出所	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1
調査周期	5年	5年	5年	5年

熊本県の第一次産業就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内の第一次産業就業者数は72千人で、就業者総数に占める割合（第一次産業就業者比率）は8.94%となり、全国平均の3.51%を大きく上回った。

産業内訳では、農業就業者が65,575人と約91%を占めた。

年次推移をみると、就業者数は、減少傾向が続いており、後継者育成等が重要な課題となっている。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第一次産業

農業、林業及び水産業。
（林業は、「農業、林業」から「うち農業」を引いて算出した。）

○第一次産業就業者比率

第一次産業就業者数
÷就業者総数×100

○農業就業者比率

農業就業者数÷就業者総数×100

○林業就業者比率

林業就業者数÷就業者総数×100

○水産業就業者比率

水産業就業者数÷就業者総数×100

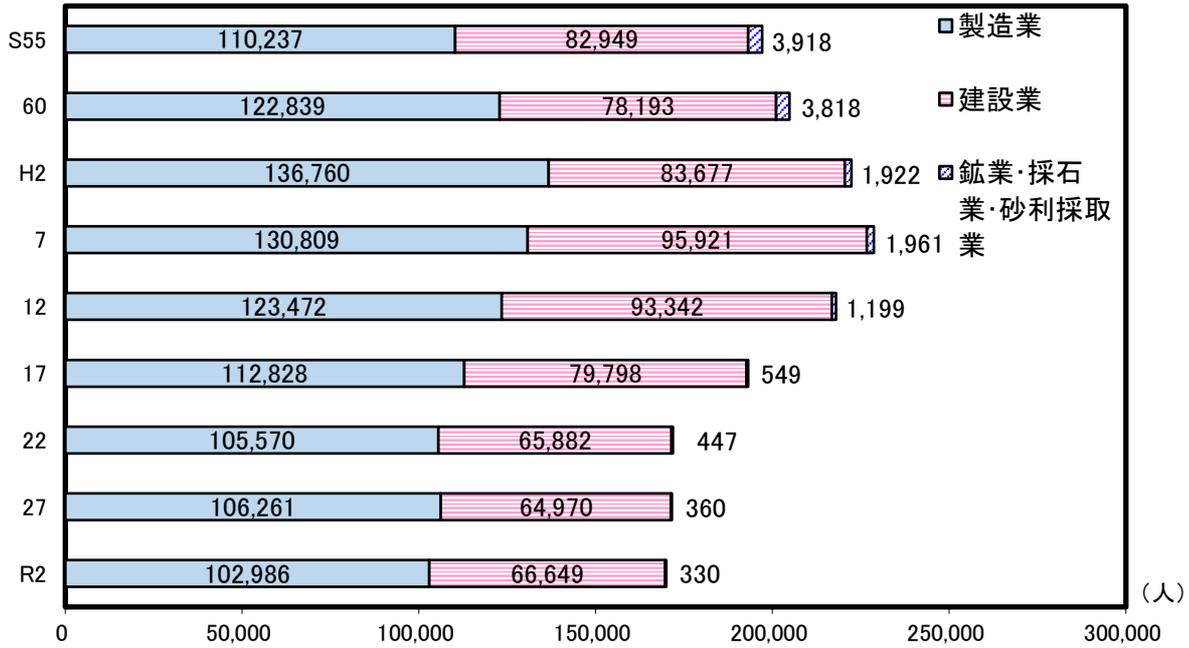
資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

43 第二次産業の就業者 Employees in Secondary Industry

都道府県 Prefecture	就業者比率 Ratio of employees							
	第二次産業 Secondary industry		鉱業・採石業・砂利採取業 Mining and Quarrying of stone and gravel		建設業 Construction		製造業 Manufacturing	
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	16.99	44	0.07	11	8.77	12	8.15	46
青森県 Aomori	20.04	39	0.07	7	9.69	4	10.28	43
岩手県 Iwate	24.77	22	0.10	4	9.44	7	15.23	29
宮城県 Miyagi	22.47	32	0.03	28	10.02	2	12.42	37
秋田県 Akita	24.02	23	0.10	5	9.69	3	14.24	32
山形県 Yamagata	28.65	13	0.05	13	8.70	13	19.90	13
福島県 Fukushima	29.67	10	0.05	12	10.38	1	19.23	15
茨城県 Ibaraki	28.77	12	0.04	24	7.76	29	20.96	11
栃木県 Tochigi	31.29	8	0.08	6	7.07	38	24.13	7
群馬県 Gumma	31.17	9	0.02	36	7.24	37	23.90	8
埼玉県 Saitama	22.98	29	0.02	39	7.48	34	15.48	27
千葉県 Chiba	19.08	43	0.03	26	7.48	33	11.57	40
東京都 Tokyo	15.24	46	0.02	34	5.53	47	9.69	44
神奈川県 Kanagawa	20.18	38	0.01	41	6.75	42	13.42	35
新潟県 Niigata	28.45	14	0.12	1	9.68	5	18.65	17
富山県 Toyama	33.27	1	0.05	17	8.43	16	24.80	5
石川県 Ishikawa	27.97	16	0.03	29	8.28	21	19.66	14
福井県 Fukui	31.60	7	0.03	31	9.47	6	22.10	9
山梨県 Yamanashi	28.01	15	0.05	16	7.66	32	20.31	12
長野県 Nagano	28.77	11	0.04	25	7.45	35	21.29	10
岐阜県 Gifu	32.59	4	0.05	15	8.01	24	24.53	6
静岡県 Shizuoka	32.66	3	0.02	37	7.25	36	25.39	3
愛知県 Aichi	32.43	5	0.01	45	6.77	41	25.65	2
三重県 Mie	31.84	6	0.04	20	6.94	39	24.87	4
滋賀県 Shiga	32.92	2	0.02	33	5.85	46	27.04	1
京都府 Kyoto	22.48	31	0.01	40	5.95	45	16.52	22
大阪府 Osaka	22.58	30	0.00	47	6.86	40	15.71	25
兵庫県 Hyogo	24.99	21	0.01	43	6.43	43	18.54	18
奈良県 Nara	22.09	34	0.01	46	5.99	44	16.09	23
和歌山県 Wakayama	22.21	33	0.01	44	7.69	30	14.50	30
鳥取県 Tottori	21.71	35	0.02	38	7.88	26	13.81	34
島根県 Shimane	23.51	26	0.07	10	9.10	9	14.34	31
岡山県 Okayama	27.02	17	0.04	19	7.96	25	19.02	16
広島県 Hiroshima	26.06	19	0.01	42	7.69	31	18.36	19
山口県 Yamaguchi	26.25	18	0.07	8	9.00	10	17.18	21
徳島県 Tokushima	23.34	27	0.04	23	7.85	27	15.46	28
香川県 Kagawa	25.10	20	0.04	21	7.82	28	17.24	20
愛媛県 Ehime	23.93	25	0.03	30	8.05	23	15.85	24
高知県 Kochi	16.99	45	0.11	3	8.38	18	8.50	45
福岡県 Fukuoka	20.02	40	0.03	32	8.20	22	11.79	39
佐賀県 Saga	24.00	24	0.03	27	8.39	17	15.58	26
長崎県 Nagasaki	19.29	41	0.04	18	8.46	15	10.79	41
熊本県 Kumamoto	21.18	36	0.04	22	8.30	20	12.83	36
大分県 Oita	23.06	28	0.12	2	8.87	11	14.08	33
宮崎県 Miyazaki	20.77	37	0.02	35	8.53	14	12.22	38
鹿児島県 Kagoshima	19.14	42	0.07	9	8.31	19	10.75	42
沖縄県 Okinawa	14.32	47	0.05	14	9.39	8	4.88	47
全 国 Japan	23.72		0.03		7.48		16.20	

資料出所	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1
調査周期	5年	5年	5年	5年

熊本県の第二次産業就業者数の推移



解 説

【概要】

令和2年の県内の第二次産業就業者数は170千人であった。

また、第二次産業就業者が就業者総数に占める割合（第二次産業就業者比率）は21.18%となり、全国平均の23.72%を下回った。

同就業者数の推移を産業別にみると、製造業は平成2年頃をピークに減少傾向であり、また、建設業は平成7年頃をピークに減少傾向にあったが令和2年に増加した。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第二次産業

鉱業・採石業・砂利採取業、建設業及び製造業。

（鉱業・採石業・砂利採取業はH17国勢調査までは、鉱業と分類されていた。）

○第二次産業就業者比率

第二次産業就業者数
÷就業者総数×100

○鉱業・採石業・砂利採取業者比率

鉱業・採石業・砂利採取業者数
÷就業者総数×100

○建設業就業者比率

建設業就業者数÷就業者総数×100

○製造業就業者比率

製造業就業者数÷就業者総数×100

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

44 第三次産業の就業者 Employees in Tertiary Industry

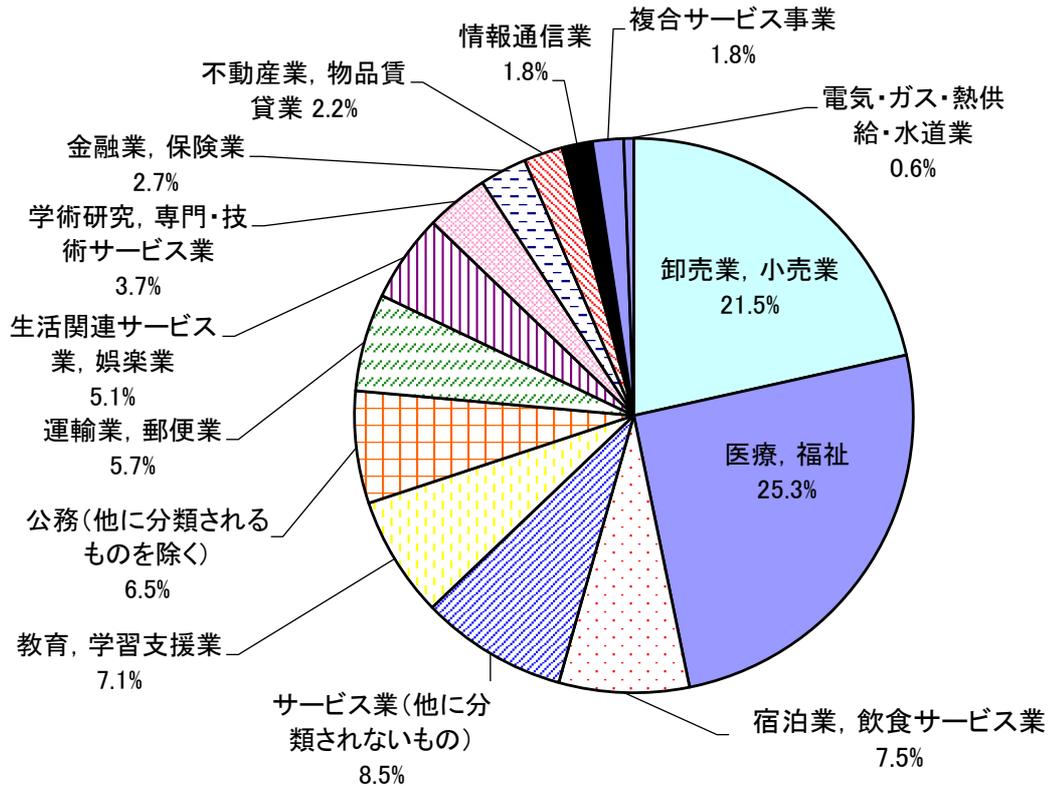
都道府県 Prefecture			就業者比率 Ratio of employees							
			第三次産業 Tertiary industry		卸売・小売業 *1		医療・福祉 *2		サービス業(他に分類され ないもの) Services.n.e.c	
			(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido	76.16	7	16.27	10	15.43	19	7.99	3	
青森県	Aomori	68.60	29	15.74	14	14.74	20	6.59	12	
岩手県	Iwate	65.49	35	15.04	29	14.33	26	5.69	36	
宮城県	Miyagi	73.34	12	17.24	3	12.82	39	7.17	9	
秋田県	Akita	67.19	31	15.56	18	15.86	16	6.01	25	
山形県	Yamagata	62.56	47	14.68	38	14.16	27	5.32	45	
福島県	Fukushima	63.99	42	14.54	42	12.89	37	6.39	15	
茨城県	Ibaraki	65.99	33	14.65	39	11.84	44	5.69	38	
栃木県	Tochigi	63.36	45	14.55	41	11.90	43	5.36	43	
群馬県	Gumma	64.23	41	14.78	36	13.63	30	5.32	44	
埼玉県	Saitama	75.48	9	16.47	7	12.06	42	7.45	8	
千葉県	Chiba	78.41	4	16.41	9	12.09	41	7.68	5	
東京都	Tokyo	84.37	1	15.18	26	11.23	47	8.39	2	
神奈川県	Kanagawa	79.02	3	15.63	16	12.51	40	7.84	4	
新潟県	Niigata	66.31	32	16.16	13	13.87	28	5.87	30	
富山県	Toyama	63.74	44	14.78	35	13.41	33	6.06	21	
石川県	Ishikawa	69.33	24	16.45	8	13.61	31	6.01	24	
福井県	Fukui	65.14	37	14.80	34	13.48	32	5.72	34	
山梨県	Yamanashi	65.25	36	14.48	45	13.00	36	5.19	46	
長野県	Nagano	62.68	46	14.25	47	13.66	29	4.90	47	
岐阜県	Gifu	64.52	40	15.22	23	12.83	38	5.54	41	
静岡県	Shizuoka	63.82	43	15.04	28	11.84	45	5.60	40	
愛知県	Aichi	65.60	34	15.55	19	11.47	46	6.16	18	
三重県	Mie	64.92	38	14.51	43	13.19	34	6.01	23	
滋賀県	Shiga	64.61	39	14.41	46	13.07	35	5.88	29	
京都府	Kyoto	75.48	8	16.62	5	14.57	23	6.49	13	
大阪府	Osaka	76.91	6	17.43	2	14.38	25	7.48	7	
兵庫県	Hyogo	73.11	13	16.23	11	14.45	24	6.65	11	
奈良県	Nara	75.46	10	17.05	4	15.61	17	6.80	10	
和歌山県	Wakayama	69.40	23	15.20	25	16.21	14	5.99	26	
鳥取県	Tottori	70.37	18	14.93	31	16.79	9	6.06	20	
島根県	Shimane	69.87	21	14.50	44	17.49	6	6.39	14	
岡山県	Okayama	68.73	28	15.70	15	15.46	18	5.86	31	
広島県	Hiroshima	71.15	16	16.51	6	14.67	22	6.30	17	
山口県	Yamaguchi	69.60	22	15.43	20	16.39	12	6.03	22	
徳島県	Tokushima	69.00	27	14.82	33	17.51	5	5.69	37	
香川県	Kagawa	70.06	19	16.20	12	14.72	21	5.69	35	
愛媛県	Ehime	69.10	26	15.36	22	16.41	11	5.91	28	
高知県	Kochi	72.48	14	15.61	17	18.44	3	5.39	42	
福岡県	Fukuoka	77.48	5	17.47	1	16.02	15	7.49	6	
佐賀県	Saga	68.43	30	14.60	40	16.61	10	5.77	33	
長崎県	Nagasaki	73.95	11	15.20	24	18.52	2	6.31	16	
熊本県	Kumamoto	69.88	20	15.02	30	17.69	4	5.94	27	
大分県	Oita	70.68	17	15.07	27	17.28	7	6.12	19	
宮崎県	Miyazaki	69.17	25	14.87	32	17.02	8	5.84	32	
鹿児島県	Kagoshima	72.39	15	15.42	21	18.73	1	5.62	39	
沖縄県	Okinawa	81.48	2	14.74	37	16.34	13	8.99	1	
全国	Japan	72.77		15.75		13.65		6.80		

*1 Wholesale trade,general,merchandise

*2 Medical , health care and welfare

資料出所	国勢調査	国勢調査	国勢調査	国勢調査
	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局	総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1
調査周期	5年	5年	5年	5年

熊本県の第三次産業就業者の構成（令和2年）



解 説

【概要】

令和2年の県内の第三次産業就業者数は561千人であった。

また、第三次産業就業者が就業者総数に占める割合（第三次産業就業者比率）は、前回調査時の69.12%から0.76ポイント増加し69.88%となった。しかし、この値は全国平均の72.77%を下回った。

○就業者

調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入などの収入（現物収入を含む）になる仕事を少しでも行った者。休業者も含む。また、家族の人が、自営業の手伝いをした場合は、無給であっても含む。

○第三次産業

電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業（他に分類さ

れないもの）、公務（他に分類されないもの）

○第三次産業就業者比率

$$\frac{\text{第三次産業就業者数}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

○卸売・小売業就業者比率

$$\frac{\text{卸売・小売業就業者数}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

○医療・福祉就業者比率

$$\frac{\text{医療・福祉就業者数}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

○サービス業（他に分類されないもの）就業者比率

$$\frac{\text{サービス就業者数（他に分類されないもの）}}{\text{就業者総数}} \times 100$$

資料出所	調査期日	調査周期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年

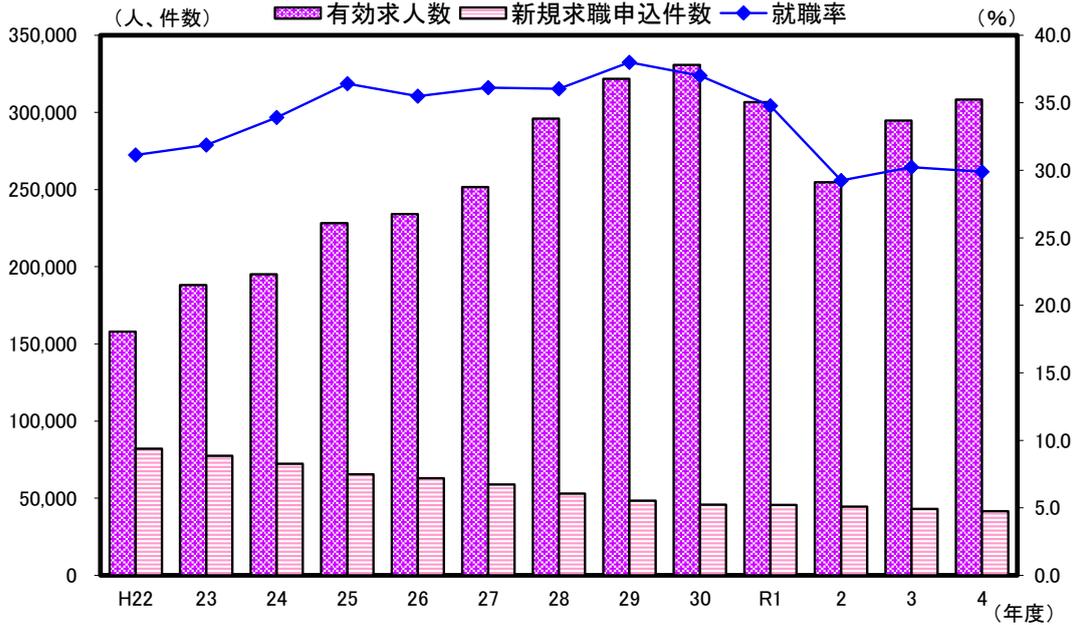
45 求人 Job Openings

都道府県 Prefecture	有効求人倍率		就職率		新規求人倍率		県外就職者比率	
	Ratio of active job openings		Ratio of persons found employment		Ratio of new job openings		*1	
	(倍)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(倍)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	1.06	42	17.7	39	1.76	46	4.7	47
青森県 Aomori	1.18	36	30.9	16	1.85	42	8.8	36
岩手県 Iwate	1.24	30	34.0	9	1.82	43	11.2	25
宮城県 Miyagi	1.37	21	24.6	29	2.14	26	11.6	23
秋田県 Akita	1.35	23	35.9	5	2.00	35	6.7	44
山形県 Yamagata	1.43	13	32.9	11	2.03	32	7.6	43
福島県 Fukushima	1.40	19	29.3	20	2.03	32	10.3	28
茨城県 Ibaraki	1.41	16	22.4	34	2.21	21	17.4	9
栃木県 Tochigi	1.17	38	24.9	27	2.15	25	17.4	10
群馬県 Gumma	1.42	15	22.5	33	2.19	23	16.2	11
埼玉県 Saitama	1.06	43	15.1	43	1.93	38	32.9	1
千葉県 Chiba	1.01	46	16.3	41	1.94	36	32.6	2
東京都 Tokyo	1.78	2	13.8	44	3.55	1	13.7	13
神奈川県 Kanagawa	0.91	47	13.2	45	1.64	47	29.8	3
新潟県 Niigata	1.55	6	30.2	18	2.39	12	5.9	46
富山県 Toyama	1.47	10	31.1	15	2.32	15	8.4	37
石川県 Ishikawa	1.61	3	26.8	24	2.56	7	9.7	32
福井県 Fukui	1.80	1	36.6	4	2.63	5	7.7	42
山梨県 Yamanashi	1.30	27	25.0	26	2.08	28	13.0	14
長野県 Nagano	1.45	11	28.3	23	2.33	14	6.5	45
岐阜県 Gifu	1.59	4	25.9	25	2.66	4	13.0	14
静岡県 Shizuoka	1.23	31	20.5	37	2.13	27	9.7	33
愛知県 Aichi	1.35	24	17.6	40	2.40	11	10.5	27
三重県 Mie	1.31	26	24.1	30	2.08	28	12.7	17
滋賀県 Shiga	1.10	41	23.2	32	1.82	43	18.2	7
京都府 Kyoto	1.22	34	60.9	2	2.38	13	18.1	8
大阪府 Osaka	1.29	28	10.8	46	2.70	3	12.1	20
兵庫県 Hyogo	1.02	45	5.6	47	1.81	45	19.6	5
奈良県 Nara	1.17	39	21.2	36	1.94	36	27.4	4
和歌山県 Wakayama	1.13	40	24.9	28	1.93	38	13.8	12
鳥取県 Tottori	1.41	17	43.3	3	2.45	9	11.7	21
島根県 Shimane	1.56	5	68.9	1	2.57	6	12.8	16
岡山県 Okayama	1.55	7	34.2	8	2.51	8	11.6	22
広島県 Hiroshima	1.55	8	16.2	42	2.81	2	9.0	34
山口県 Yamaguchi	1.51	9	18.6	38	2.31	16	12.5	18
徳島県 Tokushima	1.20	35	32.2	13	2.22	20	10.0	29
香川県 Kagawa	1.45	12	29.3	21	2.20	22	9.9	31
愛媛県 Ehime	1.38	20	30.9	17	2.43	10	8.3	38
高知県 Kochi	1.18	37	29.1	22	2.03	32	7.9	41
福岡県 Fukuoka	1.24	29	21.5	35	2.26	19	12.2	19
佐賀県 Saga	1.37	22	32.0	14	2.06	31	18.6	6
長崎県 Nagasaki	1.23	33	33.2	10	1.86	41	11.1	26
熊本県 Kumamoto	1.34	25	29.6	19	2.28	18	11.5	24
大分県 Oita	1.42	14	34.4	7	2.16	24	9.9	30
宮崎県 Miyazaki	1.41	18	35.8	6	2.30	17	8.8	35
鹿児島県 Kagoshima	1.23	32	32.9	12	2.08	28	8.3	39
沖縄県 Okinawa	1.04	44	23.4	31	1.87	40	8.0	40
全 国 Japan	1.31		22.3		2.29		13.1	

*1 Ratio of new employments in the establishment not located in their living prefecture

資料出所	職業安定業務統計	職業安定業務統計	職業安定業務統計	職業安定業務統計
	厚生労働省	厚生労働省	厚生労働省	厚生労働省
調査期日	R5年	R5年	R5年	R5年
調査周期	毎年	毎年	毎年	毎年

熊本県の求人・求職状況の推移（新規学卒及びパートタイムを除く）



「令和4年度 職業安定業務年報」（熊本労働局）より

解 説

【概要】

求人・求職動向は、一般的に景気動向に大きく左右される。

本県の有効求人数について、平成21年度を境に、平成22年度からは9年連続で増加していたが、令和に入り元年、2年と減少、3年以降は再び増加している。一方、新規求職申込件数は、平成21年度から減少が続いている。

有効求人倍率をみると、令和5年は1.34倍（令和4年1.41倍）であり、前年より下降した。

○有効求人倍率

有効求人数 ÷ 有効求職者数

○就職率

就職件数 ÷ 新規求職申込件数 × 100

○新規求人倍率

新規求人数 ÷ 新規求職者数

○県外就職者比率

他県への就職件数 ÷ 就職件数

○新規求職申込件数

期間中に新たに受け付けた求職申込みの件数。

○月間有効求人数

「前月からの繰り越された有効求人数」と、当月の「新規求人数」の合計。

○新規求人数

期間中に新たに受けた求人数（採用予定人員）。

○パートタイム

1週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用されている通常の労働者の1週間の所定労働時間に比し短い者。

資料 出 所	調 査 期 日	調 査 周 期
「職業安定業務統計」 厚生労働省	令和5年	毎年

46 県外への就業・通学 Commuters from/to outside Kumamoto Prefecture

都道府県 Prefecture		県外への就業・通学 割合		高卒者の県外への 就職率		県外からの就業・通学 割合		昼夜間人口比率 Rate of daytime population to night population	
		*1 (%)	順位 Rank	*2 (%)	順位 Rank	*3 (%)	順位 Rank	*4 (%)	順位 Rank
北海道	Hokkaido								
青森県	Aomori	0.91	41	38.3	1	0.48	41	99.9	20
岩手県	Iwate	1.59	27	27.5	11	0.82	33	99.8	25
宮城県	Miyagi	1.37	33	18.5	26	0.98	29	100.1	8
秋田県	Akita	0.76	43	25.9	12	0.30	44	99.8	25
山形県	Yamagata	1.19	38	20.5	20	0.52	39	99.7	30
福島県	Fukushima	1.47	29	16.5	29	1.06	25	100.1	8
茨城県	Ibaraki	7.80	9	13.3	34	3.06	11	97.8	40
栃木県	Tochigi	5.73	11	18.6	25	2.96	12	99.1	37
群馬県	Gumma	4.83	13	14.0	32	3.20	9	100.0	15
埼玉県	Saitama	20.09	2	29.9	8	3.91	6	89.6	47
千葉県	Chiba	18.45	3	18.8	24	3.27	8	90.3	46
東京都	Tokyo	4.69	14	13.4	33	16.93	1	116.1	1
神奈川県	Kanagawa	16.75	4	18.5	27	3.75	7	91.7	44
新潟県	Niigata	0.48	45	9.4	40	0.27	45	100.0	15
富山県	Toyama	1.42	30	5.3	46	0.75	34	99.8	25
石川県	Ishikawa	1.29	35	8.9	43	1.05	26	100.2	6
福井県	Fukui	1.28	36	10.2	39	1.02	28	100.1	8
山梨県	Yamanashi	2.99	17	12.1	37	1.31	21	99.3	36
長野県	Nagano	1.05	39	10.2	38	0.46	42	99.7	30
岐阜県	Gifu	8.82	7	24.0	13	2.67	13	96.6	42
静岡県	Shizuoka	1.72	24	8.9	42	0.94	31	99.8	25
愛知県	Aichi	1.67	25	5.1	47	2.31	15	101.2	4
三重県	Mie	4.65	15	12.5	36	1.77	17	98.6	38
滋賀県	Shiga	8.90	6	8.8	44	3.11	10	96.9	41
京都府	Kyoto	8.11	8	21.6	19	7.23	2	101.7	3
大阪府	Osaka	4.19	16	9.4	41	6.56	3	103.9	2
兵庫県	Hyogo	9.50	5	16.1	30	2.53	14	96.1	43
奈良県	Nara	20.34	1	33.8	6	4.46	5	91.1	45
和歌山県	Wakayama	5.50	12	22.7	17	2.03	16	98.5	39
鳥取県	Tottori	2.48	18	23.8	14	1.49	18	99.8	25
島根県	Shimane	1.95	20	22.0	18	1.37	19	100.1	8
岡山県	Okayama	1.84	22	20.2	22	1.27	22	100.0	15
広島県	Hiroshima	1.39	32	12.6	35	1.09	24	100.2	6
山口県	Yamaguchi	2.36	19	16.8	28	1.12	23	99.6	33
徳島県	Tokushima	1.50	28	23.1	16	0.57	38	99.6	33
香川県	Kagawa	1.42	30	14.8	31	1.03	27	100.1	8
愛媛県	Ehime	0.81	42	20.2	21	0.60	37	100.1	8
高知県	Kochi	0.67	44	29.2	9	0.33	43	99.9	20
福岡県	Fukuoka	1.90	21	18.9	23	1.37	19	100.1	8
佐賀県	Saga	7.03	10	34.2	5	5.02	4	100.4	5
長崎県	Nagasaki	1.36	34	30.4	7	0.61	36	99.7	30
熊本県	Kumamoto	1.84	22	36.8	3	0.85	32	99.6	33
大分県	Oita	1.64	26	23.5	15	0.98	29	99.9	20
宮崎県	Miyazaki	1.20	37	36.2	4	0.70	35	99.9	20
鹿児島県	Kagoshima	0.97	40	36.8	2	0.52	39	99.9	20
沖縄県	Okinawa	0.15	47	27.9	10	0.09	46	100.0	15
全 国	Japan	6.32		18.0		4.33		100.0	

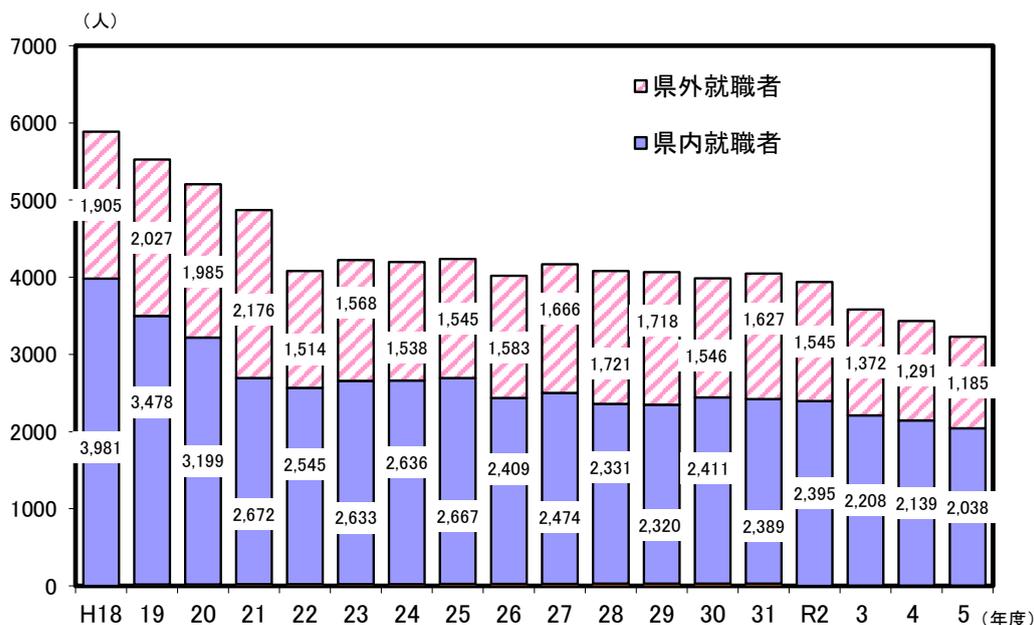
*1 Ratio of employees and students commuting to outside Kumamoto prefecture

*2 Ratio of upper secondary school graduates who found employment outside Kumamoto prefecture

*3 Ratio of employees and students commuting from outside Kumamoto prefecture

資料出所	国勢調査 総務省統計局	学校基本調査 文部科学省	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R5.5.1	R2.10.1	R2.10.1
調査周期	5年	毎年	5年	5年

熊本県の高校卒業者の就職状況の推移



解 説

【概要】

令和5年3月の県内高等学校卒業者14,007人のうち3,223人が就職したが、このうち、県外への就職者は1,185人であり、36.8%が県外就職となった。

平成18年度からの就職者総数の推移をみると、平成22年度まで減少傾向であり、その後、横ばい傾向であったものの令和に入りまた減少傾向となっている。

○県外からの就業・通学割合

昼間人口のうち他県に常住する者の数 ÷ 昼間人口 × 100

○昼間人口

県内常住人口－県外への通勤・通学者＋県外からの通勤・通学者（※夜間勤務、夜間通学については、便宜上昼間人口とみなし、含んでいる。また買い物客などの非定期的な移動については含んでいない。）

○県外への就業・通学割合

他県へ通勤・通学をする者の数 ÷ 昼間人口のうち通勤・通学する人口 × 100

○昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の割合

○高卒者県外就職率

高卒者県外就職者数 ÷ 高卒者就職者総数 × 100

○夜間人口

県内に常住する人口（人が寝泊まりする場所での人口）

資料 出 所	調 査 期 日	調 査 周 期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	5年
「学校基本調査」 文部科学省	令和5年5月1日	毎年

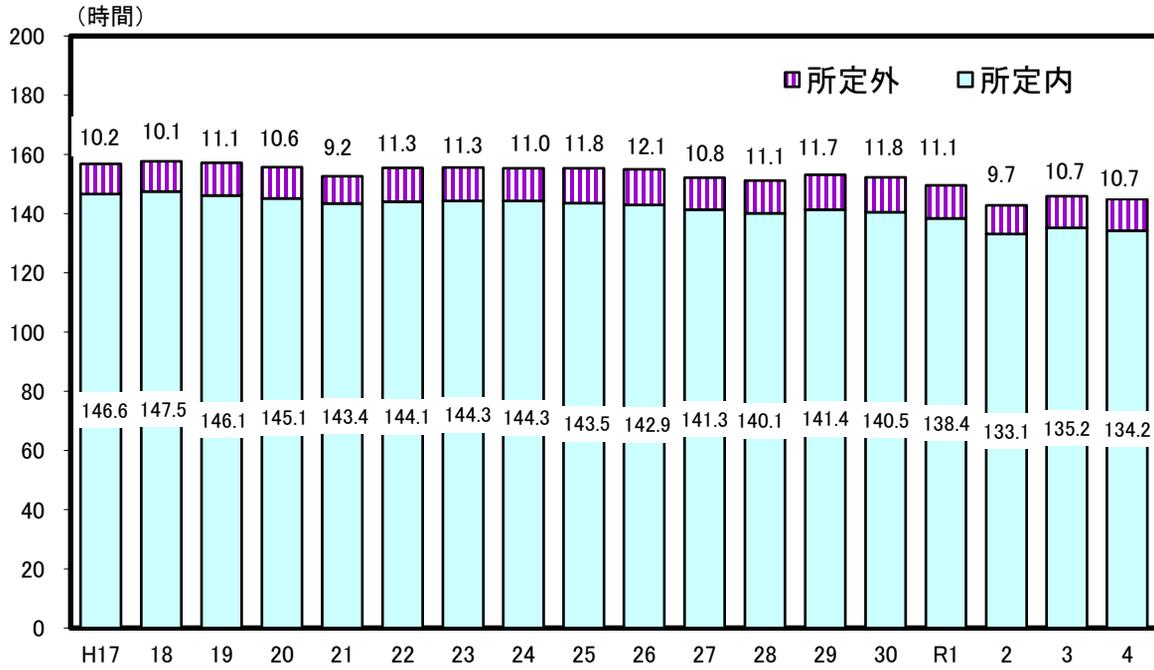
47 労働時間 Working Hours

都道府県 Prefecture	労働者一人当たり月平均総実労働時間 Monthly average working hours per employee						労働者一人当たり 月平均所定外労働時間	
	全体 Total		男 Male		女 Female		*1	
	(時間) (hours)	順位 Rank	(時間) (hours)	順位 Rank	(時間) (hours)	順位 Rank	(時間) (hours)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	141.2	37	154.5	37	126.6	33	10.2	39
青森県 Aomori	147.3	7	160.0	5	135.1	5	10.5	38
岩手県 Iwate	147.7	6	157.7	22	136.5	2	11.9	17
宮城県 Miyagi	146.1	14	159.6	9	130.9	18	11.9	17
秋田県 Akita	146.2	12	157.0	24	135.2	4	9.2	45
山形県 Yamagata	154.8	1	166.1	1	143.0	1	13.0	6
福島県 Fukushima	149.7	2	160.7	3	135.6	3	12.7	8
茨城県 Ibaraki	144.0	28	158.3	19	125.4	35	12.5	12
栃木県 Tochigi	148.7	3	163.1	2	127.9	28	13.0	6
群馬県 Gumma	148.4	5	159.9	6	131.9	14	14.1	2
埼玉県 Saitama	135.1	44	151.8	43	118.5	45	11.1	29
千葉県 Chiba	133.7	46	149.7	45	116.5	47	10.6	35
東京都 Tokyo	145.0	20	155.0	36	130.7	19	13.7	3
神奈川県 Kanagawa	137.1	43	152.4	40	118.8	44	11.5	24
新潟県 Niigata	145.0	20	157.9	20	130.0	21	10.1	42
富山県 Toyama	145.8	15	156.3	31	132.4	12	10.2	39
石川県 Ishikawa	145.0	20	159.2	14	130.0	21	10.6	35
福井県 Fukui	148.5	4	160.3	4	134.4	6	12.7	8
山梨県 Yamanashi	143.4	32	159.1	15	124.7	37	13.1	5
長野県 Nagano	147.3	7	158.6	18	133.9	9	11.6	21
岐阜県 Gifu	145.4	17	159.3	12	127.9	28	12.2	13
静岡県 Shizuoka	145.1	19	156.7	26	129.1	24	12.2	13
愛知県 Aichi	144.2	24	157.9	20	121.9	40	14.3	1
三重県 Mie	143.1	33	156.7	26	123.7	38	13.4	4
滋賀県 Shiga	137.2	42	152.0	42	118.0	46	11.6	21
京都府 Kyoto	133.4	47	145.4	47	119.7	42	11.2	27
大阪府 Osaka	139.0	39	152.1	41	123.3	39	10.6	35
兵庫県 Hyogo	138.5	41	155.5	32	119.2	43	10.8	32
奈良県 Nara	134.8	45	150.0	44	120.7	41	7.8	46
和歌山県 Wakayama	144.0	28	159.0	16	125.5	34	12.2	13
鳥取県 Tottori	145.3	18	156.4	30	134.2	8	10.0	43
島根県 Shimane	146.2	12	156.5	28	133.5	10	11.3	26
岡山県 Okayama	144.0	28	156.5	28	129.0	25	11.8	19
広島県 Hiroshima	144.1	27	159.4	11	124.9	36	12.6	11
山口県 Yamaguchi	144.2	24	156.9	25	128.0	27	11.7	20
徳島県 Tokushima	146.4	9	157.2	23	134.3	7	10.7	33
香川県 Kagawa	142.5	34	155.2	35	127.5	30	11.5	24
愛媛県 Ehime	144.2	24	159.3	12	126.7	32	11.6	21
高知県 Kochi	138.9	40	147.3	46	131.2	17	6.9	47
福岡県 Fukuoka	142.1	36	155.5	32	127.4	31	10.9	31
佐賀県 Saga	141.2	37	153.5	39	128.4	26	9.8	44
長崎県 Nagasaki	145.7	16	159.7	8	131.3	16	11.2	27
熊本県 Kumamoto	144.9	23	159.5	10	130.4	20	10.7	33
大分県 Oita	146.4	9	158.9	17	132.6	11	12.7	8
宮崎県 Miyazaki	146.4	9	159.8	7	131.8	15	12.2	13
鹿児島県 Kagoshima	143.6	31	155.3	34	132.3	13	11.0	30
沖縄県 Okinawa	142.4	35	153.9	38	129.9	23	10.2	39
全 国 Japan	143.2		155.7		127.4		12.2	

*1 Monthly average unscheduled working hours per employee

資料出所	毎月勤労統計調査年報(地方調査)	毎月勤労統計調査年報(地方調査)	毎月勤労統計調査年報(地方調査)	毎月勤労統計調査年報(地方調査)
	厚生労働省	厚生労働省	厚生労働省	厚生労働省
調査期日	R4	R4	R4	R4
調査周期	毎年	毎年	毎年	毎年

熊本県の一人当たり月平均労働時間の推移（事業所規模30人以上）



解 説

【概要】

令和4年の県内労働者の月平均総実労働時間は144.9時間（事業所規模30人以上）で、前年から1.0時間減少した。全国平均の143.2時間より1.7時間長かった。

平成17年からの推移をみると、平成18年が157.6時間で最も多く、令和2年が142.8時間で最も少なかった。

○総実労働時間数

調査期間中に労働者が実際に労働した時間数であり、次の「所定内労働時間数」と「所定外労働時間数」の合計となる。休憩時間は給与が支給されるか否かにかかわらず除かれる。有給休暇取得分も除かれる。

○所定内労働時間数

労働協約、就業規則等で定められた正規の始業時刻と終業時刻との間の実労働時間数。

○所定外労働時間数

早出、残業、臨時の呼出、休日出勤等の実労働時間数。

資料 出 所	調 査 期 日	調 査 周 期
「毎月勤労統計調査年報（地方調査）」 厚生労働省	令和4年	毎年

48 給与・賃金 Cash Earnings

都道府県 Prefecture	*1 労働者一人当たり 月平均現金給与総額 (事業所規模30人以上)		*2 きまって支給する 給与額 (事業所規模30人以上)		*3 新規学卒者(高校) 所定内給与額(企業規模計10人以上)			
					男 Male		女 Female	
	(円) (yen)	順位 Rank	(円) (yen)	順位 Rank	(千円) (1,000yen)	順位 Rank	(千円) (1,000yen)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	320,831	30	263,891	28	172.6	39	167.6	35
青森県 Aomori	285,051	46	238,532	46	165.7	46	162.7	42
岩手県 Iwate	313,844	34	258,306	34	170.1	41	173.9	18
宮城県 Miyagi	318,134	31	263,116	31	174.7	34	169.5	32
秋田県 Akita	292,987	44	240,906	45	165.4	47	172.7	23
山形県 Yamagata	323,676	28	264,354	27	168.7	44	164.5	39
福島県 Fukushima	336,324	21	273,784	20	173.3	38	160.1	46
茨城県 Ibaraki	358,579	7	288,224	6	184.2	17	179.1	13
栃木県 Tochigi	361,034	5	293,296	5	187.2	12	181.6	10
群馬県 Gumma	345,162	14	282,132	12	187.4	11	173.0	22
埼玉県 Saitama	309,922	37	257,884	35	193.4	3	187.3	6
千葉県 Chiba	324,334	27	268,932	25	196.4	2	191.2	5
東京都 Tokyo	481,344	1	374,089	1	199.0	1	202.1	2
神奈川県 Kanagawa	367,190	4	294,781	4	189.7	6	202.6	1
新潟県 Niigata	310,403	36	256,491	37	174.1	36	171.0	28
富山県 Toyama	341,171	18	278,293	14	182.1	20	173.5	19
石川県 Ishikawa	332,002	25	268,383	26	176.1	30	171.4	24
福井県 Fukui	350,095	11	283,214	11	191.9	4	171.4	24
山梨県 Yamanashi	341,276	17	273,239	21	169.3	43	167.7	34
長野県 Nagano	340,620	20	274,609	19	175.5	32	175.1	17
岐阜県 Gifu	334,261	24	271,135	23	178.8	28	176.5	15
静岡県 Shizuoka	352,206	10	283,701	10	188.8	9	183.5	9
愛知県 Aichi	395,848	2	309,016	2	188.9	8	192.7	4
三重県 Mie	348,728	12	284,346	8	181.9	22	175.7	16
滋賀県 Shiga	356,084	8	281,380	13	181.2	24	179.2	12
京都府 Kyoto	346,517	13	276,928	15	184.1	18	184.1	8
大阪府 Osaka	383,871	3	304,354	3	187.8	10	179.0	14
兵庫県 Hyogo	344,540	15	276,890	16	185.6	13	186.7	7
奈良県 Nara	312,919	35	256,714	36	191.2	5	197.1	3
和歌山県 Wakayama	325,130	26	263,698	29	174.2	35	168.3	33
鳥取県 Tottori	298,345	41	247,058	41	172.0	40	166.5	37
島根県 Shimane	322,870	29	263,196	30	176.0	31	160.9	45
岡山県 Okayama	335,375	22	270,452	24	185.1	14	173.4	20
広島県 Hiroshima	358,876	6	286,995	7	179.4	26	173.4	20
山口県 Yamaguchi	344,272	16	275,131	17	182.0	21	162.1	43
徳島県 Tokushima	353,415	9	283,895	9	179.6	25	169.9	29
香川県 Kagawa	335,321	23	272,655	22	181.9	22	169.8	31
愛媛県 Ehime	303,439	38	252,292	39	182.5	19	171.1	26
高知県 Kochi	302,291	39	253,055	38	167.5	45	164.1	40
福岡県 Fukuoka	340,876	19	274,978	18	184.3	16	169.9	29
佐賀県 Saga	300,160	40	247,337	40	175.2	33	166.6	36
長崎県 Nagasaki	293,076	43	243,289	44	179.1	27	163.2	41
熊本県 Kumamoto	316,284	33	261,567	33	174.1	36	171.1	26
大分県 Oita	317,356	32	262,270	32	178.2	29	181.1	11
宮崎県 Miyazaki	294,246	42	244,753	42	189.3	7	130.3	47
鹿児島県 Kagoshima	290,156	45	244,261	43	169.7	42	165.4	38
沖縄県 Okinawa	269,165	47	231,297	47	185.0	15	161.0	44
全国 Japan	379,732		303,496		183.4		177.6	

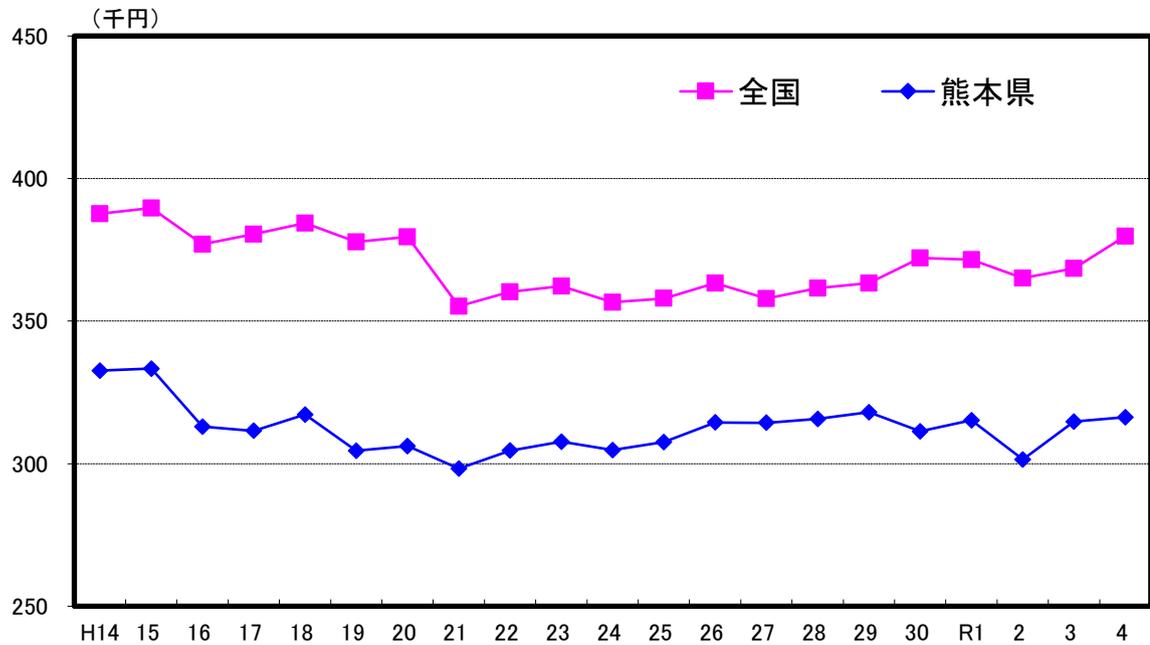
*1 Monthly average cash earnings per employee(More than 30 offices)

*2 Monthly contractual cash earnings(More than 30 offices)

*3, 4 Starting Salary of New School Graduates cash earnings(10 persons and over)

資料出所	毎月勤労統計調査年報(地方調査)	毎月勤労統計調査年報(地方調査)	賃金構造基本統計調査	賃金構造基本統計調査
	厚生労働省	厚生労働省	厚生労働省	厚生労働省
調査期日	R4	R4	R4年6月	R4年6月
調査周期	毎年	毎年	毎年	毎年

一人当たり月平均現金給与総額（事業所規模30人以上）



解 説

【概要】

令和4年の県内労働者一人当たり月平均現金給与総額（事業所規模30人以上）は、316,284円であり、全国平均（379,732円）を下回っている。

平成14年以降の推移をみると、月平均現金給与総額は平成15年の333,363円をピークに、平成21年に30万円を切った以降は翌平成22年に30万円台を回復して以降、増減はあるものの30万円を切ることはなく推移しているが、令和4年度は31万円台となった。

また、全国平均を100とした場合の水準の推移をみると、平成14年に85.8となったが、平成19年には80.6まで低下したものの平成20年以降は上昇傾向がみられ、平成27年から3年連続87台で推移したが、平成30年～令和4年は82台～85台で推移している。

○現金給与総額

きまって支給する給与と特別に支払われた給与の合計額

○きまって支給する給与

労働協約、就業規則等によってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与でいわゆる基本給、家族手当、超過労働手当を含む。

○所定内給与額

きまって支給する現金給与額のうち、超過労働給与額を差し引いた額。

超過労働給与額とは、次の給与の額をいう。

- ア 時間外勤務手当
- イ 深夜勤務手当
- ウ 休日出勤手当
- エ 宿日直手当
- オ 交替手当

資料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「毎月勤労統計調査年報（地方調査）」 厚生労働省 「賃金構造基本統計調査」 厚生労働省	令和4年 令和4年6月	毎年 毎年

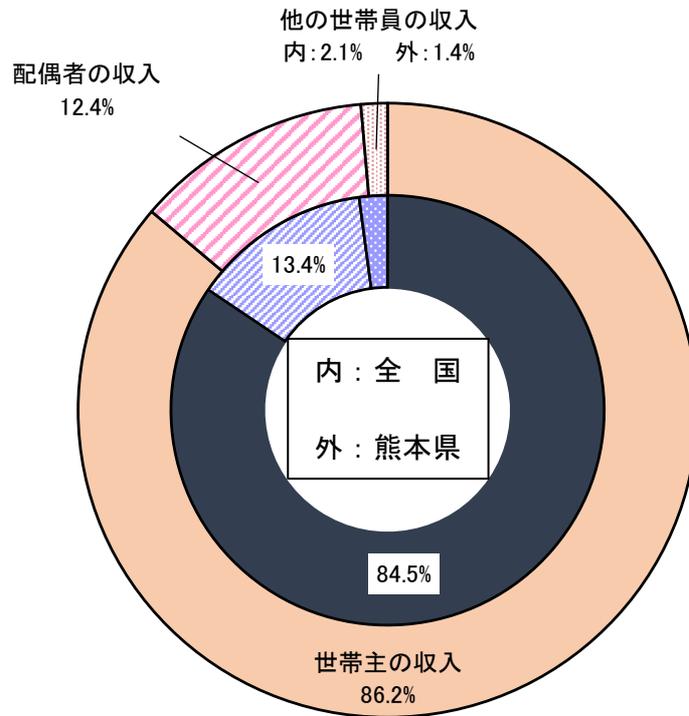
49 家計 Family Income and Expenditure

都道府県 Prefecture	勤労者世帯の 勤め先収入 Wages and salaries of workers' households		世帯主の配偶者 (うち女性)の収入割合 Ratio of yearly income by wife of household head		黒字率 Surplus rate		エンゲル係数 Engel's coefficient	
	(円) (yen)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	511,029	11	10.3	36	35.3	28	22.6	42
青森県 Aomori	399,925	42	16.2	12	33.8	32	25.9	16
岩手県 Iwate	474,420	21	18.9	4	33.1	35	25.1	27
宮城県 Miyagi	471,879	22	9.7	39	38.6	10	25.3	23
秋田県 Akita	463,412	27	12.7	25	35.9	24	27.6	5
山形県 Yamagata	448,417	35	14.9	16	36.3	21	24.2	37
福島県 Fukushima	490,783	18	11.3	34	36.4	20	22.7	41
茨城県 Ibaraki	541,039	5	20.1	2	36.8	17	22.1	45
栃木県 Tochigi	633,951	1	13.4	22	39.6	8	24.8	30
群馬県 Gumma	434,111	37	16.9	9	24.9	47	24.7	31
埼玉県 Saitama	557,352	3	10.2	37	42.8	2	24.7	31
千葉県 Chiba	462,230	29	7.8	46	36.5	18	27.3	6
東京都 Tokyo	562,365	2	11.6	32	39.0	9	27.2	7
神奈川県 Kanagawa	509,156	12	9.5	41	34.7	29	24.9	29
新潟県 Niigata	513,504	9	17.2	8	37.3	15	25.2	24
富山県 Toyama	494,485	17	18.3	5	37.0	16	25.8	18
石川県 Ishikawa	522,223	7	20.9	1	35.6	27	26.9	9
福井県 Fukui	517,638	8	19.1	3	44.4	1	25.5	21
山梨県 Yamanashi	398,656	43	11.7	30	26.4	44	25.0	28
長野県 Nagano	432,925	38	13.1	23	26.8	43	24.1	38
岐阜県 Gifu	512,644	10	15.8	14	32.9	37	22.6	42
静岡県 Shizuoka	465,991	24	11.0	35	38.3	12	24.5	35
愛知県 Aichi	468,949	23	8.7	45	34.1	30	28.0	4
三重県 Mie	486,293	19	12.2	27	25.8	45	22.3	44
滋賀県 Shiga	449,377	34	7.7	47	33.0	36	27.1	8
京都府 Kyoto	504,353	13	14.8	18	25.5	46	23.8	40
大阪府 Osaka	422,669	40	10.0	38	33.8	32	29.3	1
兵庫県 Hyogo	431,875	39	8.8	43	36.5	18	28.9	2
奈良県 Nara	546,101	4	11.6	31	36.1	22	25.2	24
和歌山県 Wakayama	498,127	16	8.7	44	37.7	14	26.5	12
鳥取県 Tottori	397,428	44	18.2	6	30.1	40	24.0	39
島根県 Shimane	441,138	36	16.1	13	35.9	24	24.6	33
岡山県 Okayama	529,521	6	17.4	7	40.1	7	26.1	14
広島県 Hiroshima	456,965	32	12.9	24	38.6	10	25.8	18
山口県 Yamaguchi	465,439	25	16.6	10	41.2	4	25.6	20
徳島県 Tokushima	504,048	14	14.9	17	36.0	23	21.6	46
香川県 Kagawa	462,749	28	14.5	20	38.3	12	25.2	24
愛媛県 Ehime	386,982	46	9.5	40	35.8	26	28.7	3
高知県 Kochi	464,397	26	14.7	19	41.9	3	26.9	9
福岡県 Fukuoka	499,137	15	9.3	42	41.2	4	24.5	35
佐賀県 Saga	458,569	31	11.9	29	40.7	6	26.1	14
長崎県 Nagasaki	479,018	20	16.3	11	34.0	31	25.4	22
熊本県 Kumamoto	397,104	45	12.4	26	28.6	41	26.6	11
大分県 Oita	461,664	30	11.6	33	30.9	39	21.5	47
宮崎県 Miyazaki	451,342	33	15.0	15	31.1	38	25.9	16
鹿児島県 Kagoshima	422,334	41	13.5	21	33.2	34	24.6	33
沖縄県 Okinawa	344,743	47	12.0	28	27.6	42	26.4	13
全 国 Japan	478,479		13.0		36.1		25.9	

* 注: 各都道府県庁所在市の数値

資料出所	家計調査 総務省統計局	家計調査 総務省統計局	家計調査 総務省統計局	家計調査 総務省統計局
調査期日	R5年	R5年	R5年	R5年
調査周期	毎年	毎年	毎年	毎年

勤め先収入の内訳（令和5年）



解 説

【概要】

令和5年の熊本市内勤労者一世帯当たり年平均1か月間の勤め先収入は397,104円となっており、全国平均478,479円を100としたときの水準は83.0であった。

また、エンゲル係数は26.6%であり、全国平均25.9%より高くなった。

○勤労者世帯

世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯。ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社団体の役員である世帯は除く。

○世帯主の配偶者（女）の収入割合

勤労者一世帯当たり年平均1か月間の世帯主の配偶者（女）の収入÷勤労者一世帯当たり年平均1か月間の勤め先収入×100

○黒字

「実収入」と「実支出」との差であり、「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じである。

○黒字率

一世帯当たり年平均1か月間の黒字÷一世帯当たり年平均1か月間の可処分所得×100

○エンゲル係数

消費支出に占める食料費の割合（%）であり、生活水準の高低を表す一つの指標。

○家計調査

全国のすべての世帯（施設等の世帯及び学生の単身世帯を除く。）から、約9千世帯を抽出して家計収支の調査を行い、都市別、地域別、収入階級別、そのほか世帯の特性による集計結果によって、国民生活の実態を毎月明らかにし、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的とした調査。

資料出所	調査期日	調査周期
「家計調査」 総務省統計局	令和5年	毎年

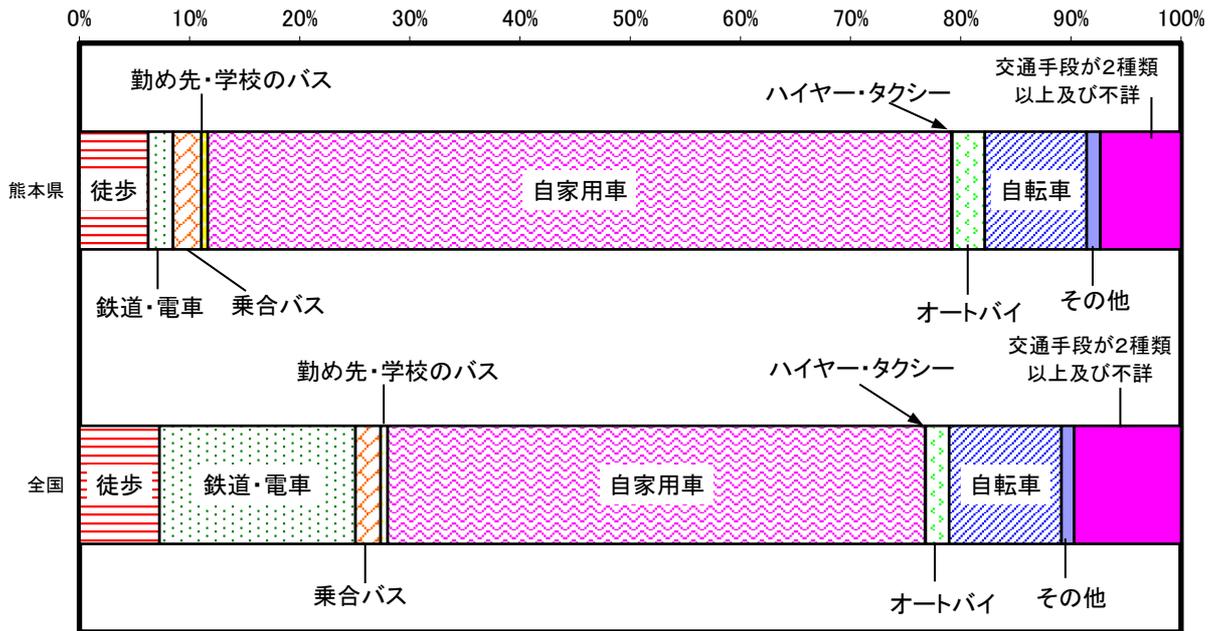
50 通勤・通学 Commuting and Attending School

都道府県 Prefecture	通勤・通学者割合 Ratio of commuting employed persons and persons attending school							
	徒歩だけ Only on foot		鉄道・電車利用 Users of train or tram		自家用車利用 Users of private car		自転車利用 Bicycle users	
	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank	(%)	順位 Rank
北海道 Hokkaido	11.2	1	9.7	13	54.3	36	5.7	39
青森県 Aomori	7.9	10	1.4	44	71.9	17	6.0	35
岩手県 Iwate	7.1	13	2.2	35	73.1	14	5.8	38
宮城県 Miyagi	7.8	11	10.7	12	57.5	34	7.0	29
秋田県 Akita	6.1	27	1.7	41	78.2	2	5.5	42
山形県 Yamagata	5.7	30	1.7	41	79.0	1	5.7	39
福島県 Fukushima	6.1	27	2.5	31	75.5	5	5.7	39
茨城県 Ibaraki	4.6	44	6.0	15	69.9	22	6.5	31
栃木県 Tochigi	4.3	47	3.5	22	73.3	12	7.6	25
群馬県 Gumma	4.5	45	3.0	29	75.2	6	7.6	25
埼玉県 Saitama	5.5	34	25.7	5	33.0	43	12.7	6
千葉県 Chiba	5.6	33	28.1	4	34.6	42	8.5	18
東京都 Tokyo	8.5	4	46.2	1	8.5	47	12.9	5
神奈川県 Kanagawa	8.4	6	34.7	2	18.5	46	8.4	20
新潟県 Niigata	6.7	20	3.4	25	74.2	10	4.8	45
富山県 Toyama	4.8	42	3.4	25	77.7	3	5.3	44
石川県 Ishikawa	7.1	13	2.1	38	72.2	16	6.0	35
福井県 Fukui	5.5	34	2.2	35	76.5	4	6.2	34
山梨県 Yamanashi	6.6	23	3.5	22	72.9	15	6.5	31
長野県 Nagano	7.1	13	3.9	20	73.7	11	5.9	37
岐阜県 Gifu	5.3	37	4.6	18	70.9	19	6.9	30
静岡県 Shizuoka	6.8	19	4.0	19	65.6	29	9.1	15
愛知県 Aichi	6.2	25	13.9	9	52.5	37	10.1	12
三重県 Mie	4.7	43	5.9	16	69.1	23	6.4	33
滋賀県 Shiga	5.4	36	11.4	10	57.3	35	8.8	16
京都府 Kyoto	8.4	6	18.6	8	30.0	44	15.0	2
大阪府 Osaka	6.7	20	29.8	3	18.6	45	20.4	1
兵庫県 Hyogo	6.9	18	22.2	7	36.1	41	11.5	10
奈良県 Nara	5.7	30	23.3	6	41.9	40	7.3	27
和歌山県 Wakayama	4.9	41	4.9	17	63.3	31	9.2	13
鳥取県 Tottori	6.2	25	2.0	39	74.6	8	7.8	22
島根県 Shimane	7.0	16	1.0	46	75.0	7	7.2	28
岡山県 Okayama	5.1	39	3.5	22	65.7	28	11.9	8
広島県 Hiroshima	8.4	6	7.3	14	49.3	39	12.2	7
山口県 Yamaguchi	7.0	16	2.9	30	70.0	21	8.3	21
徳島県 Tokushima	4.5	45	1.5	43	71.3	18	11.3	11
香川県 Kagawa	5.3	37	3.9	20	66.4	26	11.7	9
愛媛県 Ehime	6.7	20	2.4	33	59.5	33	14.1	3
高知県 Kochi	6.0	29	1.9	40	63.4	30	13.0	4
福岡県 Fukuoka	8.4	6	11.3	11	49.6	38	8.8	16
佐賀県 Saga	5.1	39	3.1	28	73.3	12	7.8	22
長崎県 Nagasaki	11.2	1	3.2	27	59.6	32	2.4	47
熊本県 Kumamoto	6.3	24	2.3	34	67.5	25	9.2	13
大分県 Oita	7.4	12	2.2	35	70.4	20	7.7	24
宮崎県 Miyazaki	5.7	30	1.0	46	74.5	9	8.5	18
鹿児島県 Kagoshima	8.5	4	2.5	31	67.9	24	5.4	43
沖縄県 Okinawa	9.2	3	1.4	44	66.1	27	2.8	46
全 国 Japan	7.0		17.1		46.9		9.8	

*注:利用交通手段が1種類の場合

資料出所	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局	国勢調査 総務省統計局
調査期日	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1	R2.10.1
調査周期	10年	10年	10年	10年

通勤・通学方法（利用交通手段が1種類の場合・令和2年）



解 説

【概要】

令和2年の県内の通勤・通学者は約784千人であった。そのうち、交通手段が1種類のみの方の利用交通手段をみると、自家用車が67.5%を占め、次いで自転車が9.2%を占めていた。

また、全国と比較すると、本県は鉄道・電車が極端に少ない一方で、自家用車通勤が多い結果となった。

注：この調査項目は、国勢調査の大規模調査（10年に1回）の年に実施

○徒歩だけの通勤・通学者割合

徒歩だけで通勤・通学をする15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100

○鉄道・電車利用の通勤・通学者割合

通勤・通学の手段に鉄道・電車を利用する15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100

○自家用車利用の通勤・通学者割合

通勤・通学の手段に自家用車を利用する15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100

○自転車利用の通勤・通学者割合

通勤・通学の手段に自転車を利用する15歳以上人口÷通勤・通学をする15歳以上人口×100

注) 通勤・通学をする15歳以上人口は利用交通手段「不詳」を含む。

資料 出 所	調 査 期 日	調 査 周 期
「国勢調査」 総務省統計局	令和2年10月1日	10年 (大規模調査年)